「賛助会員の会」会長
（株）ジェイテクト　小野﨑　徹

この度、小坂会長の後任として 2025 年度精密工学会「賛助会員の会」の会長を拝命いたしました、（株）ジェイテクトの小野﨑です。次の総会までの 1 年間、運営委員会委員長の松原先生（京都大学）をはじめ、幹事・委員の皆様と連携し、「精密工学会」ならびに「賛助会員の会」の発展に尽力してまいります。引き続き、会員の皆様のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

精密工学会は、研究者・技術者の交流による切磋琢磨と研鑽の場であると同時に、産官学の交流の場でもあります。この中で「賛助会員の会」は、学会幹部との交流や賛助会員相互の交流を促進するとともに、多様な特典やメリットを会員の皆様に提供する重要な役割を果たしています。具体的な活動としては、中堅・中小企業の優れた製品や研究者・技術者を表彰する「ものづくり賞」の贈呈、春季・秋季大会中に開催される新技術講演会や技術交流会があり、技術交流や懇親の場としてご活用いただけます。さらに、学生と企業との懇談会も設けており、人的交流の機会としてもご利用いただけます。

ここで、世の中の動きに目を向けますと、地球温暖化抑制のためにカーボンニュートラルやサーキュラエコノミーに対する取り組みが加速しております。この状況下で、特に産業界において重要なのは連携であると考えております。カーボンニュートラルやサーキュラエコノミーの実現は非常に大きな課題であり、個社だけでの取り組みには限界があります。サプライチェーン全体での取り組みが必要であり、複数社が連携してこれらの課題に取り組むことが肝要です。このような共通課題への対応には産官学連携、特に産産連携が必要であり、その促進にぜひ「賛助会員の会」をご活用いただきたいと思います。

今後も会員の皆様の積極的なご参加を期待するとともに、企画・運営面に関して忌憚のないご意見やご要望をお寄せいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。